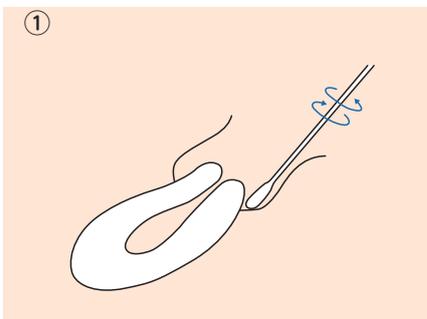


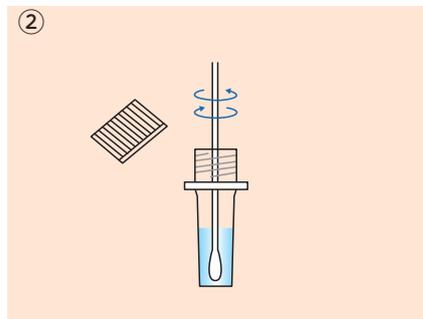
頸管腔分泌液中癌胎児性フィブロネクチン (Q11)

採取方法

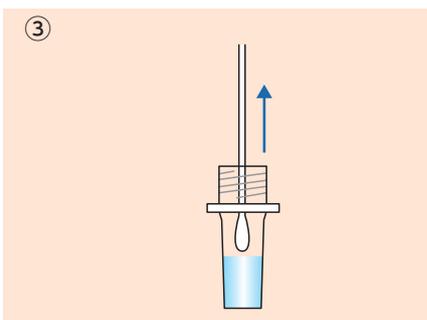


① 専用綿棒を後膣円蓋に挿入し、約10秒間回して分泌物を吸収させます。

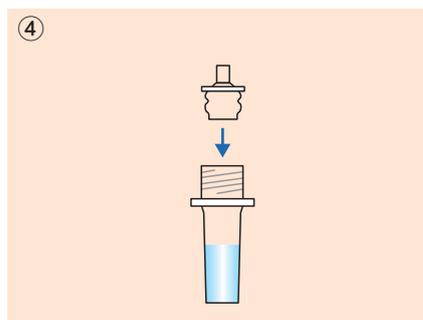
【ご注意】・検体採取時に無理な力がかかると、綿棒が折れる可能性がありますので、十分ご注意ください。
・膣表面を強くこすらないでください。
・粘液は混入させないでください。



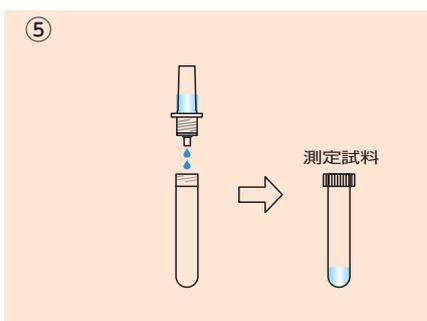
② 検体抽出容器の白色キャップをはずし、分泌液を吸収させた綿棒を浸けて、5回程度綿棒を回します。（この際、容器から液がこぼれないよう注意してください。）



③ 綿棒を検体抽出容器から引き抜きます。



④ 検体抽出容器に検体濾過フィルターをとりつけます。



⑤ 検体抽出液の全量を検体保存チューブに滴下し、チューブの蓋を締めて必ず凍結保存してください。

注意事項

- 1) 検体の採取は膣洗浄前に行ってください。
- 2) 検体中に精液が混入しているときは、その検体は使用しないでください。
- 3) 検体中に0.1%以上の血液混入が認められた場合、正確な結果が得られない可能性があります。